

2025 年 3 月 31 日

各 位

株式会社三井住友銀行

中央日本土地建物グループ株式会社への「サステナビリティ・リンク・ローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、中央日本土地建物グループ株式会社（代表取締役社長：三宅 潔/以下、「中央日本土地建物グループ」）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「本ローン」）を実施いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

中央日本土地建物グループは、「人と社会に安心と感動を。ともに考え、ともに創り、ともに未来へ。」という企業理念のもと総合不動産グループとしての歩みを進めてきました。中央日本土地建物グループは、社会課題解決への貢献を新たな価値創造の機会と捉え、2022年4月に「サステナビリティ基本方針」を策定しており、同基本方針は「サステナビリティビジョン」と5つの「マテリアリティ（重要課題）」によって構成されています。中央日本土地建物グループは、マテリアリティ毎にアクションプランとKPIを設定しており、マテリアリティのうち「自然環境との共生」については「GHG排出量の削減」や「再生可能エネルギーの導入」等のKPIが設定されています。

また、中央日本土地建物グループは、中期経営計画（2024年4月～2027年3月）の基本方針の一つである「サステナビリティ経営の進化」に則し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みをより一層推進するため資金調達基盤を強化することを目的として、2025年1月に「サステナブル・ファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を策定しています。本フレームワークでは、GHG排出量の削減がKPI及びSPTsとして採り入れられています。本ローンでは、本フレームワークに基づくSPTsを定め、達成への動機付けとして、SPTs達成時に金利が連動する貸出条件を設定しています。

尚、本フレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCR サステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位評価である「Green1 (F)」を取得するとともに、同社より「グリーンボンド原則」、「グリーンローン原則」、「グリーンボンドガイドライン」、「グリーンローンガイドライン」、「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン」及び「サステナビリティ・リンク・ローンガイ

ドライン」において求められる項目について基準を満たしているとの第三者評価を得ています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約日	2025 年 3 月 17 日
契約金額	90 億円
貸付人	三井住友銀行
契約期間	10 年
SPTs	GHG 排出量の削減（Scope1・2）を 2030 年度までに 2021 年度比 40% 削減

（参考）

中央日本土地建物グループ株式会社ホームページ：
<https://www.chuo-nittochi.co.jp/>をご参照ください。

中央日本土地建物グループ株式会社「サステナブル・ファイナンス・フレームワーク」：
<https://www.chuo-nittochi.co.jp/news/202501/201600.html>をご参照ください。

株式会社日本格付研究所（JCR）「JCR サステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」：
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

サステナブルソリューション部

TEL：03-4333-6964

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。